



電話のエクスポート

この章では、エクスポートユーティリティを使用して、複数の Cisco Unified Communications Manager サーバから 1 台の Cisco Unified Communications Manager サーバ上にレコードをマージする方法について説明します。

- [電話機レコードのエクスポート \(1 ページ\)](#)
- [エクスポートされる電話機レコードのフィールド \(2 ページ\)](#)
- [電話機レコードのエクスポート \(6 ページ\)](#)
- [エクスポートまたはインポートする複数のユーザ電話機 \(8 ページ\)](#)
- [電話のエクスポート関連のトピック \(8 ページ\)](#)

電話機レコードのエクスポート

Unified Communications Manager サーバ間でレコードを移動するには、電話機レコードのエクスポートオプションを使用します。移動対象のレコードのみをエクスポートします。エクスポートできるのは、以下のレコードです。

- 電話機レコード
- ユーザレコード
- ユーザデバイスプロファイルレコード

オプションで、テキストエディタを使用して CSV ファイルを編集できます。レコードは、そのレコードのファイル形式に指定された形式に従っていなければなりません。たとえば、電話機レコードは、電話ファイル形式に従っている必要があります。



注意 CSV ファイルを編集する際は、十分に注意してください。誤った形式のレコードを挿入すると、電話機が機能しなくなる可能性があります。

電話機レコードをエクスポートする場合、2つのオプションからファイル形式を選択できます。

- [固有の詳細 (Specific Details)] : 設定が類似している複数の電話機の場合

- [すべての詳細 (All Details)] : 回線の設定が異なる複数の電話機の場合 (複数のパーティションやコーリング サーチ スペースが使用されているなど)

エクスポートしたレコードを挿入する準備ができたなら、レコードを挿入する順序に注意してください。デバイスが既存のユーザに適切に関連付けられるよう、最初にユーザレコードを挿入する必要があります。

1. CSV ファイルを Unified Communications Manager にアップロードします。
2. ユーザレコードを挿入します。
3. 電話機レコードを挿入します。
4. ユーザデバイスプロファイルレコードを挿入します。
5. ログファイルでエラーの有無を確認します。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[電話機レコードのエクスポート \(6 ページ\)](#)

[ユーザデバイスプロファイルレコードのエクスポート](#)

[ユーザレコードのエクスポート](#)

[電話のエクスポート関連のトピック \(8 ページ\)](#)

[サーバへのファイルのアップロード](#)

エクスポートされる電話機レコードのフィールド

デフォルトの電話ファイル形式でエクスポートされるフィールド

エクスポートされるデフォルトの電話ファイル形式オプションは、設定が類似している電話機の電話ファイル形式をエクスポートするときに便利です。デフォルトの電話機レコードは、定義されているクエリを使用してエクスポートされます。

次の表に、デフォルトの電話ファイル形式を選択した場合にエクスポートされるフィールドの一覧を示します。

表 1: デフォルトの電話ファイル形式でエクスポートされるフィールド

フィールドタイプ	エクスポートされるフィールド
[デバイス フィールド (Device Fields)]	[MACアドレス (MAC Address)]、[説明 (Description)]、[ロケーション (Location)]

フィールドタイプ	エクスポートされるフィールド
[回線フィールド (Line Fields)]	[電話番号 (Directory Number)]、[表示 (Display)]、[回線のテキストラベル (Line Text Label)]、[話中転送 (外部) (Forward Busy External)]、[話中転送 (内部) (Forward Busy Internal)]、[無応答時転送 (内部)]、[無応答時転送 (外部) (Forward No Answer External)]、[無カバレッジ時転送 (内部) (Forward No Coverage Internal)]、[無カバレッジ時転送 (外部) (Forward No Coverage External)]、[コールピックアップグループ (Call Pickup Group)]

[すべての電話の詳細 (All Phone Details)]ファイル形式でエクスポートされるフィールド

[すべての電話の詳細 (All Phone Details)]オプションを使用して電話機レコードをエクスポートすると、電話の特定モデルの電話機レコードと、電話に関連付けられているすべてのデバイスフィールド情報、各種回線属性、サービスがエクスポートされます。あるいは、1つのファイルにすべての電話モデルをエクスポートすることもできます。すべての電話のタイプを1つのファイルにエクスポートするには、[デバイスタイプの選択 (Select the Device Type)]ドロップダウンリストボックスから [すべての電話タイプ (All Phone Types)]を選択できます。クエリを使用してレコード数を制限することはできません。

次の表に、[すべての電話の詳細 (All Phone Details)]ファイル形式を選択した場合にエクスポートされるフィールドの一覧を示します。



-
- (注) すべての [電話の詳細 (All Phone Details)]ファイル形式を使用してエクスポートするときには、MAC アドレスではなくデバイス名が保存されます。
-

表 2: [すべての電話の詳細 (All Phone Details)]ファイル形式でエクスポートされるフィールド

フィールドタイプ	エクスポートされるフィールド
[デバイス フィールド (Device Fields)]	[デバイス名 (Device Name)]、[説明 (Description)]、[所有者のユーザID (Owner User ID,)]、[デバイスプール (Device Pool)]、[CSS]、[AAR CSS]、[メディアリソースグループリスト (Media Resource Group List)]、[ユーザ保留音源 (User Hold Audio Source)]、[ネットワーク保留音源 (Network Hold Audio Source)]、[ロケーション (Location)]、[ユーザロケール (User Locale)]、[ネットワークロケール (Network Locale)]、[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)]、[拡張モジュールタイプ I (Expansion Module Type I)]、[拡張モジュールタイプII (Expansion Module Type II)]、[ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]、[電話ロード名 (Phone Load Name)]、[モジュール1ロード名 (Module 1 Load Name)]、[モジュール2ロード名 (Module 2 Load Name)]、[ログインユーザID (Login user ID)]、[ビルトインブリッジ (Built in Bridge)]、[MLPP通知 (MLPP Indication)]、[MLPPプリエンプション (MLPP Preemption)]、[MLPPドメイン (MLPP Domain)]、[ビデオコールをオーディオとして再試行 (Retry Video call as Audio)]、[プライバシー (Privacy)]、[セキュリティモード (Security Mode)]、[プレゼンテーションインジケータを無視 (Ignore Presentation Indicators)]、[シングルパケットキャプチャモード (Single Packet Capture mode)]、[パケットキャプチャ時間 (Packet Capture Duration)]、[証明書操作 (Certificate Operation)]、[認証モード (Authentication Mode)]、[認証文字列 (Authentication String)]、[キーサイズ (ビット) (Key Size (bits))]、[操作の完了期限 (Operation Completes By)]
モデル固有のデバイス フィールド	[情報 (Information)]、[ディレクトリ (Directory)]、[メッセージ (Messages)]、[サービス (Services)]、[認証サーバ (Authentication Server)]、[プロキシサーバ (Proxy Server)]、[アイドル (Idle)]、[アイドルタイマー (Idle Timer)]、[エクステンションモビリティの有効化 (Enable Extension Mobility)]、[ログアウトプロファイル (Logout Profile)]、[ログインユーザID (Login User ID)]、[ログイン時刻 (Login Time)]、[ログアウト時刻 (Logout Time)]、[プロダクト固有のXML (Product Specific XML)]

フィールドタイプ	エキスポートされるフィールド
[回線フィールド (Line Fields)]	[電話番号 (Directory Number)]、[パーティション (Partition)]、[ボイスメールプロファイル (Voice Mail Profile)]、[回線CSS (Line CSS)]、[AARグループ (AAR Group)]、[回線ユーザ保留音源 (Line User Hold Audio Source)]、[回線ネットワーク保留音源 (Line Network Hold Audio Source)]、[自動応答 (Auto Answer)]、[ボイスメールへの不在転送 (Forward All to Voice Mail)]、[不在転送の接続先 (Forward All Destination)]、[不在転送CSS (Forward All CSS)]、[ボイスメールへの話中転送 (Forward Busy External to Voice Mail)]、[話中転送の接続先 (外部) (Forward Busy External Destination)]、[話中転送 (外部) CSS (Forward Busy External CSS)]、[ボイスメールへの無応答時転送 (外部) (Forward No Answer External to Voice Mail)]、[無応答時転送の接続先 (外部) (Forward No Answer External Destination)]、[無応答時転送 (外部) CSS (Forward No Answer External CSS)]、[ボイスメールへの失敗時転送 (Forward On Failure to Voice Mail)]、[失敗時転送の接続先 (Forward On Failure Destination)]、[失敗時転送CSS (Forward on Failure CSS)]、[コールピックアップグループ (Call pickup group)]、[ボイスメールへの話中転送 (内部) (Forward Busy Internal to Voice Mail)]、[話中転送の接続先 (内部) (Forward Busy Internal Destination)]、[話中転送 (内部) CSS (Forward Busy Internal CSS)]、[ボイスメールへの無応答時転送 (内部) (Forward No Answer Internal to Voice Mail)]、[無応答時転送の接続先 (内部) (Forward No Answer Internal Destination)]、[無応答時転送 (内部) CSS (Forward No Answer Internal CSS)]、[ボイスメールへのコール無カバレッジ時転送 (外部) (Forward No Call Coverage External to Voice Mail)]、[コール無カバレッジ時転送の接続先 (外部) (Forward No Call Coverage External Destination)]、[コール無カバレッジ時転送 (外部) CSS (Forward No Call Coverage External CSS)]、[ボイスメールへのコール無カバレッジ時転送 (内部) (Forward No Call Coverage Internal to Voice Mail)]、[コール無カバレッジ時転送の接続先 (内部) (Forward No Call Coverage Internal Destination)]、[コール無カバレッジ時転送 (内部) CSS (Forward No Call Coverage Internal CSS)]、[表示 (Display)]、[外線電話番号マスク (External Phone Number Mask)]、[メッセージ受信ランプポリシー (Message Waiting Lamp Policy)]、[電話機がアイドルのときの呼出音設定 (Ring Setting When Idle)]、[回線のテキストラベル (Line Text Label)]、[電話使用時の呼出音設定 (Ring Setting When Active)]、[無応答時の呼び出し時間 (No Answer Ring Duration)]、[MLPP ターゲット接続先 (MLPP Target Destination)]、[MLPPコーリングサーチスペース (MLPP Calling Search Space)]、[MLPP 無応答時の呼び出し時間 (MLPP No Answer Ring Duration)]、[コール最大数 (Max Num Calls)]、[話中トリガー (Busy Trigger)]、[コール情報表示マスク (Call Info Display Mask)]、[呼び出し表示 (Alerting Name)]
ユーザフィールド	[ユーザID (User ID)]
[短縮ダイヤル (Speed Dials)]	[短縮ダイヤル番号 (Speed Dial Number)]、[短縮ダイヤルラベル (Speed Dial Label)]

フィールドタイプ	エキスポートされるフィールド
サービス (Services)	[サービス名 (Service Name)]、[登録済みサービス名 (Subscribed Service Name)]、[パラメータ名 (Parameter Name)]、[パラメータ値 (Parameter Value)]

電話機レコードのエキスポート

Cisco Unified Communications Manager データベースから電話機レコードをエキスポートできます。電話機レコードをエキスポートした後、[一括管理 (Bulk Administration)]メニューの[ファイルのアップロード/ダウンロード (Upload/Download Files)]オプションを使ってエキスポート済みファイルを検索し、ダウンロードすることができます。

手順

ステップ 1 次のいずれかのオプションを選択します。

- [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話のエキスポート (Export Phones)] > [固有の詳細 (Specific Details)] の順に選択します。[電話機クエリのエキスポート (Export Phones Query)] ウィンドウが表示されます。
- [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話のエキスポート (Export Phones)] > [すべての詳細 (All Details)] の順に選択します。[電話機設定のエキスポート (Export Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [すべての詳細 (All Details)] オプションで、[デバイス タイプ (Device Type)] ドロップダウンリストボックスから、デバイスのタイプまたは特定のモデルを選択します。 [ステップ 4 \(7 ページ\)](#) にスキップします。

この形式でエキスポートされるフィールドのリストについては、「[表 1: デフォルトの電話ファイル形式でエキスポートされるフィールド \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

ステップ 3 [固有の詳細 (Specific Details)] では、エキスポートする電話機のセットを選択することによってエキスポートファイルをカスタマイズできますが、電話機の詳細を設定することはできません。

a) 最初の [電話の検索 (Find Phone where)] ドロップダウンリストボックスで、次のオプションの中から選択します。

- [デバイス名 (Device Name)]
- 説明
- 電話番号 (Directory Number)
- [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)]
- [デバイスプール (Device Pool)]
- [コール ピックアップ グループ (Call Pickup Group)]
- [LSC ステータス (LSC Status)]
- [認証文字列 (Authentication String)]

- [セキュリティ プロファイル (Security Profile)]
 - 最後の登録
 - 最後のアクティブ
- b) 2 番目のドロップダウンリスト ボックスでは、次のオプションの中から選択します。
- ~で始まる
 - ~を含む
 - 次の文字列と完全に一致する
 - 次の文字列で終わる
 - 空である
 - ~が空ではない
- c) [検索 (Search)]フィールド/リストボックスで、デバイス名などの検索する値を選択または入力します。
- d) さらにクエリを定義するには、[絞り込み (Search Within Results)]チェックボックスをオンにし、[AND] または [OR] を選択して複数のフィルタを追加し、[3.a \(6 ページ\)](#) ~[3.c \(7 ページ\)](#) を繰り返します。
- e) [検索 (Find)]をクリックします。
検索結果が表示されます。
- f) [次へ (Next)]をクリックします。
[電話機設定のエキスポート (Export Phone Configuration)]ウィンドウが表示されます。
- g) [ファイル形式 (File Format)]ドロップダウンリストボックスから、電話機ファイル形式を選択します。

ステップ 4 [ファイル名 (File Name)]テキストボックスに、エキスポートファイルの名前を入力します。

ステップ 5 [ジョブ情報 (Job Information)]領域に、ジョブの説明を入力します。

ステップ 6 エクスポート方法を選択します。次のいずれかを実行します。

- a) すぐに電話機レコードをエキスポートする場合は、[今すぐ実行 (Run Immediately)]をクリックします。
- b) 後でエキスポートする場合は、[後で実行 (Run Later)]をクリックします。

ステップ 7 電話機レコードをエキスポートするためのジョブを作成するには、[送信 (Submit)]をクリックします。

このジョブをスケジュールするか、アクティブ化するには、[一括管理 (Bulk Administration)]メインメニューの [ジョブ スケジューラ (Job Scheduler)]オプションを使用します。

関連トピック

[BAT ログ ファイル](#)

[スケジュールしたジョブの管理](#)

[電話のエキスポート関連のトピック \(8 ページ\)](#)

[ファイルのアップロードおよびダウンロード](#)

エクスポートまたはインポートする複数のユーザ電話機

エクスポートされたファイル名には、接尾辞としてタイムスタンプが付加されます。エクスポート電話機で繰り返し実行されるジョブがスケジュールされている場合は、情報が同じファイル名でエクスポートされますが、タイムスタンプが異なります。

ユーザが複数存在する電話機を含むエクスポートファイルをインポートすると、すべてのユーザが1つのレコードでエクスポートされます。

関連トピック

[電話のエクスポート関連のトピック](#) (8 ページ)

電話のエクスポート関連のトピック

- [電話機レコードのエクスポート](#) (6 ページ)
- [ユーザレコードのエクスポート](#)
- [ユーザデバイスプロファイルレコードのエクスポート](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。